

自信“が人を大きく育てる

「自分の持っている知識、経験を伝えて、人の成長を見ていく」とは大きな喜びでした

多くのセミナー
やトレーニングを担当す
る。

がればみずからコンサルタントとしての発展もない。いっこうやつたるか。の思いで引き受けた。

解る。」聞きやす
た。という好評價
る。これが大きな占
なった。そして、
信」がさうなる成
駆り立てる。

かつ
義。その合間に年間1-5
回を得
0日を超えるセミナー、
自信と研修講師をこなす。社内
「自研修も多く、各地方自治
体をはじめ、松下電器産業、
シマノ、などそぞう
業、シマノ、などそぞう

たごと 必ず、 そうそうたる企業がクライアントに

「知識のアート」
トップトを重視して
視しています。

独自の人材育成システムを構築

への連載、

る企業がクライアントに

ライアンントにな
を連ねる。

名前でアバウトに扱うことは、アバウトな人には頭のなかで情報を整理し再度組み立てるところも、いろいろ作業が必要です。だから、そこを経ることで得た知識がきっちりと身に付くのです」

緑と小学校問題

「ことを夢みて、
ます」

「企業は人なり」と言われる。人材の優劣が企業成長の決め手となる。とはいっても、どこの会社の球団のように金に駄かせて人材をかき集めるなど、できるのはほんの一握り。多くの企業が自分で人材をいかに育て上げるかに恵を絞っている。「こうした企業にとってまさに福音といえる存在がある。株式会社新環境経営研究所（大阪市中央区）。代表の小野木正人さんは独自のディスカッション型研修で知識・経験をアウトプットできる人材を見て、組織の活性化を図る。自らは大学で講座を持つほか、ラジオなどでマネジメントコンサルティングのコメントーターとしても活躍。マルチな顔を持つ小野木さんの多忙ぶりを追つた。

100

卷之三

インタビュー特集

株式会社新環境経営研究所
CEO兼 代表取締役社長

小野木 正人さん



昭和33年12月16日生。命館大学理学部化科卒業。同大学院修了。MBA修得。システムエンジニアを経て、大手監査法人のソサルティング事業担当。平成15年株式会社新環境経営研究所設立、代表取締役。商業経営及び人材育成各種国際管理規格（ISO）に関する教育セラーソー。東京外国语大学非常勤講師（環境言論）、神戸山手大非常勤講師（環境マネジメント実践）。

共に我が人生あり／

識を使って自分を表現したいという気持ちがどこかにあるんですよ。上書ききっかけを作つてやればどんどん発言し提案し自信を持つて行動するようになります」